

(氏名) 阿久津 由佳	(学部) 経済学部
1 重要事項 (1) カリキュラムの円滑な実施 2019 年度も英語もカリキュラム改革の円滑な実施にもっとも力を注いだ。新カリ 3 年目となり、完全な新科目はなくなったが、カリキュラムの適正な実施のために非常勤講師の先生方への説明や調整などを行った。 具体的には、 ① 必修科目についての指針、内容など詳細の決定及び説明 同一科目内での同質な授業の質の確保をめざして、英語部会内で科目内容やルールについて検討後、それを文書化し、詳細に説明を行った。 ② スピーキング共通テストについて非常勤講師にむけての説明会を開催 具体的な内容や実施方法についての説明会を準備し実施した。 ③ M-reader 説明会の実施 Extensive Reading Program の一環として、昨年度から導入を開始した M-reader について具体的な使用方法等についての説明会を実施した。 ④ 英語担当者会議の開催 2019 年度の授業の振り返りと 2020 年度の授業に向けての説明を実施するため、後期終了後に英語担当者会議を開催した。会議では、英語科目全体に関する変更点や注意点などについて説明後、レベルコーディネーターを務める 3 科目について、担当の先生方と話し合い、問題点などを共有するとともに、今後の新カリキュラム作成に向けて、各科目内容、カリキュラムの評価についても意見をうかがった。 ⑤ コースリーダー・レベルコーディネータ業務の遂行 Business English III/IV のコースリーダー兼 advanced level のレベルコーディネーター、Business English I/II (Pre-Intermediate)、General English III/IV(Upper Intermediate)のレベルコーディネーターとして、カリキュラムに関して非常勤講師の先生方に個別に内容等の説明を実施し質問に対応した。 ⑥ 新型コロナウイルス問題による次年度授業対応 2 月から年度末にかけて、新型コロナウイルス問題が発生し、次年度の英語科目実施方法や問題点の解決に向けての方策等について、英語部会で検討を続けている。 (2) 教育 現行の授業の改善に向けての取り組みも引き続き行っている。2019 年度は、1、2 年生の Business English の必修科目を 3 種類と選択科目を一種類担当した。TOEIC 問題の傾向の分析の経験を活かして、教材の内容にメリハリをつけるとともに、学生が能動的に学習できる英語授業の形態を目指している。また、基本的なビジネスのフレーズを覚えて使うための工夫をすることで、学生は TOEIC にも直結する語彙・表現を身に付けられると考えている。 また、授業外での積極的学習を促すため、授業時間外に希望者を対象に個別の英語学習相談や留学相談を実施し、各自のレベルや適性、目標に合わせた学習、留学計画作成のアドバイス等を行うことも継続している。海外留学に興味がある学生が増えたため、2019 年度はほぼ毎週のセッションを行った。	

(3) 研究

前年度に引き続き英語の語用論的要素をどのように学校英語教育に取り入れるかについての研究を進めている。2019年度は、2020年3月に Hawaii International Conference on English Language and Literature に参加し、新たな知見を得るとともに共同研究の話し合いの予定だったが、新型コロナウイルスの問題の影響で、参加中止となってしまった。

2 その他の事項

英語部会メンバーとして、カリキュラム改革をはじめとする英語関連の課題解決のための英語部会に参加した。

3 次年度以降の計画・抱負

2020年度は、現行カリキュラムの評価をし、今後の変更を始める年となるはずだったが、まずは新型コロナウイルスの問題に対応した遠隔授業での英語カリキュラム実施について対応することになるだろう。グループやペアワークが必須な語学の授業をどのように遠隔授業で実行していくのか、制限のある環境でできるだけ質の高い授業を提供するにはどうしたらいいのか、関係各所と密に連絡を取りながら丁寧に対処していきたい。